

KAYABA RALLY TEAM



JAF全日本ラリー選手権 参戦レポート#6

2025年 JAF全日本ラリー選手権 第6戦

RALLY HOKKAIDO

2025/9/5(金)～7(日)

北海道帯広市/陸別町/音更町/足寄町/池田町



2年越しのチーム悲願達成!!
国内最難関のラリー北海道を走破!



KAYABA RALLY TEAM



大会概要

日程: 2025/9/5(金)～7(日)
場所: 北海道十勝地方
主催: AG.メンバーズ
スポーツクラブ北海道
SS数: 12
路面: グラベル
総走行距離: 632.08 km
SS距離: 102.60 km



スペシャルステージ設定

【LEG1】 9/6(土)
天候: 晴れ / 路面: ドライ

	スタート		6:00
SS1	PAWSE KAMUY SHORT 1	9.47 km	7:39
SS2	RIKUBETSU LONG 1	4.63 km	8:34
SS3	YAM WAKKA 1	23.53 km	9:14
SS4	PAWSE KAMUY SHORT 2	9.47 km	10:29
SS5	RIKUBETSU LONG 2	4.63 km	11:33
	フレキシサービスA (20分)		11:40
SS6	YAM WAKKA 2	23.53 km	23:53
SS7	PAWSE KAMUY SHORT 3	9.47 km	14:18
SS8	RIKUBETSU LONG 3	4.63 km	15:13
	フレキシサービスB (45分)		17:38
	パルクフェルメ		

【LEG2】 9/7(日)
天候: 雨のち曇り / 路面: セミウェット

	サービスC (15分)		7:00
SS8	SSS IKEDA 1	0.50 km	8:03
SS9	OTOFUKE REVERSE 1	6.12 km	8:58
	フレキシサービスD (45分)		9:48
SS10	SSS IKEDA 2	0.50 km	11:33
SS11	OTOFUKE REVERSE 2	6.12 km	12:16
	サービスE (10分)		13:02
	フィニッシュ		

全体図



チーム体制



チーム : KAYABA Rally Team
監督 : 梶本 一憲
チームアドバイザー : 奴田原 文雄
メカニックアドバイザー : 山田 淳一(RUTS RACING)
リーダー/エンジニア : 松下 雄介
ドライバー : 石黒 一暢
コ・ドライバー : 穴井 謙志郎
メカニック : 長江 将典、増谷 大志
松田 幸也、三國 大河

リザルト (JN-1クラス 5位・総合 10位/全90台)

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	LEG 1										LEG1 順位		LEG 2						LEG2 順位		総合計	クラス 順位	総合 順位
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	SS7	SS8	Penalty	合計	クラス	総合	SS9	SS10	SS11	SS12	Penalty	合計	クラス	総合			
JN-1	55	新井 大輝	立久井 大輝	YAHAGI シュコダ ファビア R5	ABCUFX11	FIA	5:16.3	3:26.3	15:38.0	5:09.8	3:26.1	15:11.6	5:05.1	3:24.2		56:37.4	1	1	0:54.9	3:54.6	0:42.4	3:48.9		9:20.8	1	1	1:05:58.2	1	1
JN-1	5	奴田原 文雄	東 駿吾	ADVANKTMSGRヤリスRally2	MXPA12	FIA	5:16.3	3:25.6	15:43.5	5:11.2	3:25.7	15:21.4	5:05.7	3:24.9		56:54.3	2	2	1:04.2	3:58.3	0:42.4	3:54.8		9:39.7	5	5	1:06:34.0	2	2
JN-1	6	福永 修	齊田 美早子	スミロン☆焼肉ふじ☆CTE555ファビア	ABDKZX11	FIA	5:24.4	3:34.5	16:14.7	5:19.5	3:34.8	15:59.4	5:16.9	3:34.0		58:58.2	3	3	0:55.1	4:02.2	0:42.4	3:57.7		9:37.4	4	4	1:08:35.6	3	3
JN-1	10	今井 聡	高橋 英悠	AKM・MOTORSPORTS・C3R5	C3	FIA	5:45.6	3:39.2	17:12.9	5:34.9	3:36.8	16:44.7	5:30.6	3:37.9		1:01:42.6	4	4	1:13.4	4:24.1	0:47.8	4:11.7		10:37.0	6	11	1:12:19.6	4	4
JN-2(MCC)	14	大竹 直生	橋本 美咲	GR YARIS GR4 RALLY	GXPA16	RJ	5:32.0	3:44.6	17:28.4	5:31.2	3:42.3	16:47.1	5:28.8	3:43.7		1:01:58.1	1	5	1:14.3	4:16.2	0:44.7	4:18.1		10:33.3	5	10	1:12:31.4	1	5
JN-2	26	内藤 学武	大高 徹也	YH TEIN Moty's GRヤリス	GXPA16	RJ	5:44.2	3:44.8	17:34.0	5:43.6	3:41.1	16:58.0	5:33.8	3:41.2		1:02:40.7	2	6	1:14.3	4:25.1	0:45.2	4:16.4		10:41.0	7	14	1:13:21.7	2	6
JN-2	17	石川 昌平	大倉 瞳	ARTAオートボックスGRヤリス	GXPA16	RJ	5:44.0	3:42.9	17:36.5	5:38.9	3:44.4	17:05.2	5:34.7	3:41.3		1:02:47.9	3	7	1:17.1	4:22.7	0:45.6	4:16.9		10:42.3	9	16	1:13:30.2	3	7
JN-2(MCC)	24	長尾 綱也	安藤 裕一	DL WPMS GRヤリス	GXPA16	RJ	5:43.5	3:42.7	17:31.4	5:47.6	3:47.1	17:20.1	5:41.8	3:45.3		1:03:19.5	5	9	1:05.8	4:20.8	0:44.4	4:12.4		10:23.4	1	6	1:13:42.9	4	8
JN-2(MCC)	1	米林 慶晃	木村 悟士	KTMS GRヤリス	GXPA16	RJ	5:41.2	3:47.0	17:33.0	5:39.2	3:44.8	17:13.0	5:46.5	3:47.2		1:03:11.9	4	8	1:06.6	4:28.1	0:44.5	4:12.5		10:31.7	3	8	1:13:43.6	5	9
JN-1	7	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ GRヤリス	GXPA16	ASN	5:49.9	3:51.6	17:58.0	5:35.8	3:47.2	17:14.3	5:37.3	3:44.8		1:03:38.9	5	10	1:17.6	4:21.4	0:45.3	4:15.8		10:40.1	7	13	1:14:19.0	5	10
JN-2(MCC)	8	Zeal Jones	Bayden Thomson	CUSCO WM DL GR Yaris	GXPA16	RJ	5:51.1	3:45.8	17:43.6	5:49.9	3:45.0	17:17.9	5:43.8	3:44.8	0:10	1:03:51.9	6	11	1:10.8	4:29.3	0:44.1	4:20.5		10:44.7	10	17	1:14:36.6	6	11
JN-2	20	関根 正人	松川 萌子	Gセキネン・DL・カヤバWM GRヤリス	GXPA16	RJ	5:57.6	3:44.4	18:02.0	5:47.2	3:43.6	17:45.2	5:53.2	3:44.0		1:04:37.2	8	14	1:05.9	4:25.4	0:45.1	4:25.5		10:41.9	8	15	1:15:19.1	7	12
JN-3	30	山本 悠太	立久井 和子	SammyK-oneルプロスYHGR86	ZN8	RJ	5:50.9	3:52.3	17:47.0	5:47.8	3:51.7	17:27.3	5:45.1	3:49.0		1:04:11.1	1	12	1:18.9	4:29.1	0:50.9	4:29.6		11:08.5	1	23	1:15:19.6	1	13
JN-2	11	貝原 聖也	西崎 佳代子	ADS多賀製作所カヤバK1GRヤリスDL	GXPA16	RJ	5:54.8	3:49.9	17:38.8	5:43.6	3:49.7	17:50.6	5:45.8	3:49.9		1:04:23.1	7	13	1:15.6	4:43.0	0:44.4	4:29.5		11:12.5	16	24	1:15:35.6	8	14
JN-2	12	原澤 潤平	磯田 卓	YH 千明自動車 WRX	GVB	RJ	5:43.9	3:47.2	18:24.0	5:40.6	3:47.6	18:04.2	5:46.8	3:49.1		1:05:03.4	9	15	1:22.0	4:26.0	0:44.7	4:20.7		10:53.4	11	18	1:15:56.8	9	15

9月5日(金)～7日(日)、北海道十勝地方を舞台に全日本ラリー選手権 第6戦「RALLY HOKKAIDO」が開催された。本ラリーは非常に高い平均速度に加え、同一コースを3度走行するステージも存在するなど、ラリー中に刻々と変化する路面状況への対応力が問われる。車両への負荷も大きく、完走率の低さから国内最難関とも評されている。ステージ構成は昨年とほぼ同様だが、最長ステージであるSS3/6「YAM WAKKA REVERSE」は昨年とは逆方向の設定となり、多くの選手にとって初見となるチャレンジングなステージとなった。精度の高いペースノート作成力と適応力が問われた一戦である。

BEFORE RALLY

未走破のラリー北海道

KAYABA Rally Teamは、本ラリーに強い意志と覚悟を持って臨んだ。というのも、2023年の全日本ラリー選手権参戦開始以来、「ラリー北海道」だけは完走を果たせていなかったからである。

2023年はレグ1のSS2にて過酷な路面入力により部品が破損。それがエンジンプローへと波及し、修復も叶わず、レグ2へ再出走も断念。悔しいリタイヤとなった。

2024年はエンジニア・メカニックに加え、ドライバーとコ・ドライバーもカヤバ社員となった“オールカヤバ体制”でラリー北海道に挑戦した。刻々と変化する路面に対応しきれず、レグ1でコースオフし横転。夜を徹した修復作業を経て、レグ2への再出走にこぎつけたものの、ペースノートの表現に課題が残り、再びコースオフし、2日連続でリタイヤという厳しい結果に終わった。

迎えた2025年。チームは“完走”を最優先目標に掲げた。3年目の挑戦として、車両整備や選手のスキルアップに力を注いできたチームの集大成ともいえる体制で、この難関のラリーに立ち向かった。



ラリーショー/セレモニアルスタート

9月5日(金)に、帯広駅前の北多目的広場および平原通りにて、恒例のラリーショーが開催された。全選手とラリーカーが一堂に会し、多くのラリーファンが来場。各チームはグッズ配布やサイン対応などでファンサービスを行い、会場は大いに賑わいを見せた。KAYABA Rally Teamもオリジナルグッズを配布し、前年以上に多くの応援の声を頂いた。ラリーを通してカヤバの認知度も高まったことを実感し、チームにとって、開幕前に大きなエネルギーを得る場となった。

また、会場では航空自衛隊北部航空音楽隊による演奏や国歌斉唱、ヘヴィメタルバンド「MEDIAS ZONE」によるラリー北海道公式テーマソングの生演奏、プロダンスチーム「LIFULL ALT-RHYTHM」によるパフォーマンスも実施され、ラリーショーを盛大に彩った。

続いて行われたセレモニアルスタートでは、MCの紹介を受けながら各車両が順にスタートゲート通過。絶対完走の誓いを掲げ、カヤバも華々しくスタートを切った。



LEG 1

SS1/4/7 「PAWSE KAMUY SHORT 1/2/3」 9.47 km

道幅が比較的広く、速度域の高いステージ。昨年はターマックとグラベルが頻繁に切り替わる路面に対応できずリタイアした因縁のコースであるが、今年は逆走レイアウトでの走行。SS1では駆動制御系のトラブルが再発し、後輪がうまく駆動しない症状に見舞われたものの、完走を意識した安定走行に徹した。テストで煮詰めたサスペンションセッティングが功を奏し、終始コントロール性の高い走りを実現。SS4では4輪駆動が正常に機能し、総合9位の好タイムを記録した。

SS2/5/8 「RIKUBETSU LONG 1/2/3」 4.63 km

陸別サーキットを使用した恒例ステージ。サーキット外の舗装路からスタートし、中盤以降はグラベル林道へ。ジャンピングポイントやウォータースプラッシュなど、特徴的なコーナーが多く、コースを暗記している選手も多い。SS2では依然として駆動系トラブルに悩まされたが、SS8ではSS2から6.8秒のタイムアップを果たした。SS5ではサスペンション部品を破損したが、直後に設定された20分間のリモートサービスにて、メカニックの迅速な作業により破損部品の修復と整備が完了した。

SS3/6 「YAM WAKKA REVERSE 1/2」 23.53 km

今大会最長のステージ。昨年も使用したコースを逆走で走行する。高速で起伏が激しく、難しい複合コーナーも多いため、非常に難易度の高いステージ。そのうえラリー前的大雨の影響により、一部区間が泥状で極めて滑りやすい状態となっていた。SS6では、ドライバーとコ・ドライバーの声を繋ぐマイクが故障し、ペースノートが聞こえなくなるトラブルが発生。しかし、臨機応変な対応で無事に完走した。このステージではSS3で8台、SS6で6台がリタイアするなど、荒れた展開となった。



LEG 2

SS9/11 「SSS IKEDA 1/2」 0.50 km

昨年に続き、野球場のグラウンドを使用したステージ。SS9では雨が降り、林道とは違う土質により予想以上に滑りやすい路面に多くの選手が苦しんだ。進入速度の見極めや姿勢制御、車両操作のすべてに細心の注意が必要となる中、SS9では姿勢を乱して走行ラインを外してしまい大幅にタイムロス。SS11では天候が回復し路面状況も改善したが、タイトコーナーでのサイドターンに失敗するなど、細かなミスが影響し、好タイムを記録するには至らなかった。

SS10/12 「OTOFUKE REVERSE 1/2」 6.12 km

昨年は走り切れなかった因縁のステージ。非常に狭く見通しが悪い上に、柔らかい路面の影響で2ループ目では深い轍が形成される。SS10/12ともにマージンを確保しながらも攻めた走行を見せた。

結果として、昨年苦しんだラリー北海道を走り抜け、総合10位の結果で完走。JN-1クラスではマシントラブルやコースアウトにより4台ものリタイアが発生したため、自己最高位となるクラス5位の順位を獲得した。



KAYABA RALLY TEAM



DRIVER 石黒 一暢 - Ishiguro Motonobu -



カヤバとしてチーム発足以来一度も完走できていないラリーであっただけに、今年は絶対に完走するという強い思いで臨みました。荒れた路面と数々のトラブルにより多くの苦労がありましたが、入念な準備とチーム皆の努力で完走という結果を持ち帰ることが出来ました。ご協力頂いた関係者やチーム員に深い感謝を申し上げます。次戦から舞台がターマックに戻ります。気持ち新たに気を引き締めて挑みますので応援のほどよろしくお願い致します。

Co-DRIVER 穴井 謙志郎 - Anai Kenshiro -



ラリー北海道は国内最難関とも評され、20kmを超えるSS3/6は他チームも警戒するほどの高難度ステージ。そんなSS6ではまさかのマイクトラブルが発生し、ペースノートを手で伝えられなくなるトラブルに見舞われました。咄嗟に指で数字（コーナーのきつさ）と向きを伝え、大声でノートを叫び続けました。間違いなくこれまでのラリー活動の中で最も心拍数の上がったステージになりました。細かいトラブルはありましたが、この厳しいラリーを完走した石黒と、壊れても直してくれるメカニックに敬意を表します。

LEADER 松下 雄介 - Matsushita Yusuke -



全日本最難関と言われるラリー北海道で多くの車両がリタイアする中、完走を果たせたことは我々の大きな自信に繋がりました。また、リモートや20分サービスなどメカニックも体力を使うラリーでしたが迅速な判断と作業できっちり送り出せたこともチーム全員が成長できた証だと感じます。次戦より残り2戦ターマックになります。目標はもとより完走ですが、見守ってくださる皆様に楽しんでいただけるようなラリーをしたいと思います。次戦も応援よろしくお願い致します。



NEXT

Rd.7
10/3~5 愛媛県上浮穴郡
久万高原ラリー



Special Thanks

伊勢湾海運株式会社

CHITA

Takako

Fukoku Tokai

株式会社平原精機工業

UTSUE
UTSUE SEIKI CO., LTD.

山二産業株式会社

三正工業株式会社

カーメテック

TAYO
STEEL MATERIALS

株式会社 甲山製作所

TOSHIDA
KOGYO CO., LTD.

NSSI
NAKAGAWA SPECIAL STEEL INC.

株式会社 サイキ

林愉快研究所

OGISON

IKO 日本トムソン

株式会社 東海技研

金山カヤバ株式会社

Covalent

株式会社 興亜組

DAIDO METAL

生駒鍍金工業株式会社

自由工業

PROSPEC

NUTAHARA
RALLY SCHOOL

YOKOHAMA

LAILE

CERAMETA

KTMS

HKS

MOTOR SPORTS OIL
FORTEC

PIAA

BELL
HELMETS

TONE

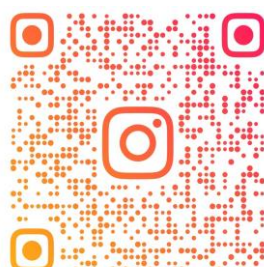
BRIDE

AQTEC
INTERNATIONAL

Mizuno

SPK

※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。



@kybcorporation
カヤバ株式会社
公式Instagram



@KAYABA_KYB
カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)



@kyb_official
カヤバ株式会社
公式YouTube

Youtubeにて
動画公開中!

KYB

Our Precision, Your Advantage

原点を見つけることが、
未来を目指す力になる。

未来を見つけることが、
今日を変えていく力になる。

私たちは創業から息づく「ものづくり」の原点に立ち返り、未来に向かって歩み続けます。

Kites rise highest against the wind - not with it. Winston Churchill